

ごあいさつ

私は、向島の小学校、中学校を卒業し、洛水高校に雨の日も雪の日も緑の制服を着て自転車で通っていました。

平成3年に西田吉宏先生の東京事務所へ就職し、8年間東京事務所に勤務し、平成12年からは京都事務所に勤務しました。この間、東京では国会審議を傍聴しながら自民党本部での部会などに代理出席し、政策決定の仕組みや派閥の活動も勉強させていただきました。平成19年から後を継がれた西田昌司先生の事務所で働きました。

知事選挙や京都市長選挙、衆参の選挙など大きな選挙では候補者付き秘書を経験するなど現場で多くの経験を積み、最近では届け出事務や選挙日程、報道対応、選挙の収支報告など総務の仕事に携わってきました。

地域では、消防団活動、自治連合会の活動も積極的に行ってきました。

これまで30年あまり秘書として有権者の皆さんと接してきた経験と、地域で住民として活動してきた経験をこれからは育った伏見区のために全力で活動してまいります。

田中正一



向島中学・洛水高校時代



多くの経験を積んだ
秘書時代



田中正一 [たなか まさかず] プロフィール

- 昭和44年 京都市生まれ
- 昭和57年 京都市立 向島二の丸小学校 卒業
- 昭和60年 京都市立 向島中学校 卒業
- 昭和63年 京都府立 洛水高等学校 卒業
- 平成 3年 参議院議員 西田吉宏事務所 東京事務所勤務(公設第二秘書)
- 平成12年 参議院議員 西田吉宏事務所 京都事務所勤務
- 平成19年 参議院議員 西田昌司事務所 京都事務所勤務(公設第一秘書)

国会議員政策担当秘書資格/消防団分団長/日本防災士機構 防災士
京都観光文化検定2級/応急手当普及員/第三級アマチュア無線技士

LINE



facebook



田中正一 後援会

〒613-0903 京都市伏見区淀本町218-2
TEL/FAX 075-600-2050 E-mail masakazu.fushimi@gmail.com



活力と潤いのある
伏見のために

京都市政に新風を

前西田昌司参議院議員秘書
洛水高校、向島中学校出身

まさかず
田中正一



地域力アップは防災力アップ

地域が少子高齢化などによりどんどん弱体化していることを目の当たりにし、地域の絆を強くすることで、今後起こりうる大災害などにも対応できる街を作っていきたいと思います。地域コミュニティの向上は、地域振興だけでなく、防災力のアップの原点です。



また、交通インフラの向上は必須です。生活するうえで市内中心部とのアクセスは非常に大切です。地域の均衡ある発展は欠かせません。警察や消防は保険の一つだと考えます、財政状況が厳しい中でも保険は必要です。安心安全のためには、後々後悔することが無いよう人材を確保しておくべきです。

大きな河川が流れる伏見区は水害対策を始め、災害に対する備えが必要です。消防団や水防団、自主防災会などと地域の絆を高めるとともにハード面でもしっかりと災害対策をしておく必要があります。



少子高齢化対策



少子化対策については不妊治療の問題など、真摯に取り組んでいきます。若い人たちが経済的に結婚できないことがないよう、また安心して子育てができる環境をつくることが喫緊の課題です。また高齢者に優しい安心安全な生活ができるよう取り組みます。買い物難民をつくることの無い政策も今後は大切になってきます。



中小企業・農業振興



活力と潤いのある街づくりのため、コロナ禍で疲弊した中小企業の振興策や事業承継についても取り組みたいと思います。地域の企業を活性化させるための政策を打ち出していかなければなりません。併せて「らくなん進都」など、ものづくりをはじめとする産業の振興にも力を入れていきたいと思っています。近郊農業の支援で、地産地消はもとより農地を守り、「京野菜」づくりの振興にも力を入れていきます。



観光振興



政策担当秘書の資格を取得した時に「観光振興と京都の活力創造」について論文を書きました。観光客にとって「訪ねてよし」のまちは、住民にとっても「住んでよし」の街であるべきだとして勉強しました。コロナ前のオーバーツーリズム問題なども考えつつ、京都の文化に触れる旅行などニーズに合った新しい形の観光政策を考え、世界一魅力的な国際観光都市としてさらに活性化させるべきです。伏見区は歴史豊かな街であり、まだまだ観光資源が活かしきれない街でもあります。観光対策と街づくりをしっかりと進めていかななくてはなりません。

